



あおい 2024

郡山市立守山小学校
令和7年2月26日
学校だより No. 19

感謝の気持ちを込めて

先日、5年生が中心となって「6年生を送る会」を実施しました。各学年とも「学年のカラー」を出して、それぞれが6年生への感謝の気持ちを全身で伝えていました。

6年生の学年通信には、6年生の子供達がそれをどのように感じたのかが掲載されておりましたので、ご紹介いたします。

1年生や他の学年の発表がすごくかわいいし、かっこよかったです。すごく楽しかったです。

スクリーンに1年から6年までの懐かしい写真が映されて、少しうるっときました。

5年生が6年生のために準備をしてくれたことが嬉しかったです。会場に入った時、花のアーチがあって泣きそうになりました。

どの学年も一生懸命練習してくれてくれたことがよく分かりました。守（もり）レンジャーも引き継いでくれたので嬉しかったです。

ハフニングもあったけど、みんなで楽しく終われてとっても良かったです。中学校に行っても守小のみんなと仲良くしたいです。

最後の6年生のダンスで6年生だけかと思ったら、ほとんどの全校生と一緒にダンスに参加してくれて驚き、楽しかったです。とても感動し、最高の会になりました。



「ちょっと」どころではなく…

とてもいい話

(これも6年生の学年だよりから)

2月21日の朝、電話がきました。



もしもし、守山小学校ですか？
私は地域のものなんですけど、とっても気持ちのいいことがありました。
それは、子供達が集団登校していて、ちょうど私の車の前を横断したのです。班長さんが下級生のためにがんばっているんだな、と感心していたら、横断するのを待っていた私に感謝するようにお礼をして通り過ぎていったのです。とっても素晴らしい行動ですね。



(電話を受けた職員)
校長先生、子供達はとっても素晴らしいですね。
生徒指導の先生に伝えておきますね

(生徒指導の先生が全校放送)

…という、とっても嬉しい電話がきました。
朝からとてもすがすがしい気持ちですね。



朝の交通指導でも校舎内を歩いているだけでも、学年を問わず「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」のあいさつを交わすことができる子どもが増えた、と実感します。

大人も子どもも同じ立場であいさつをするのだから、まずは大人が手本を見せよう、と学校運営協議会の時に区長の猪俣さんが発言してくださいました。その通りだ、と思って、令和6年度のがんばることに「いつでもどこでもだれにでも元気にあいさつ」を掲げてきました。

子供達のあいさつに対する意識が徐々に高まってこととおっておりますが、何よりおうちの方からの称賛やお声がけもあってのことだと認識しています。よき伝統として、来年も引き続き取り組んでまいります。